

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年2月20日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670300823号
法人名	有限会社 サフラン
事業所名	グループホーム ヴィラ サフラン
所在地	鹿児島県鹿屋市郷之原町12584番地 (電話) 0994-42-7220
自己評価作成日	平成24年2月20日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

ご利用者の皆様が、ホームにおいて、日々元気に過ごす為に、鹿屋訪問看護ステーションとの医療連携の契約を結び、主治医、又、鹿屋在宅支援診療所の医師との連携を蜜にして健康が保たれるように健康管理を徹底しながら、もし身体状況が悪化した場合においても、御本人、御家族の希望でグループホームでの看取り介護も行う等、最後まで同じ環境の中で、安心した生活が送れる様に、支援をしています。また、併設のデイサービスセンターを活用し、四季の催しや、日々の行事等へ参加し、その中での地域住民、関係者等との触れ合いを通じて地域密着性を深めながら、参加者様への認知症の理解や、認知症ケアの啓発に努めています。尚、高齢者配食サービスの事業も併設され、この機能を生かして、食に関する栄養士の栄養管理も行っています。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年3月15日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

鹿屋市郊外の閑静な住宅地に建てられ、広い敷地にはデイサービス、フードサービス事業所を併設している。見晴らしの良い高台にあり、春はホーム前の通りで桜の花見が楽しめ、秋には名前の由来にもなっているサフランが咲き誇る。ホーム回りに造られたウッドデッキは眺望が良く、遠くに高隅山系も眺められ、日常の日光浴やティータイム、ときにはバーベキューや花火大会も行われ、利用者のお気に入りの場所となっている。職員の離職が少なく、ここ数年職員の入れ替わりがない。また、職員育成にも力を入れており、外部研修や法人全体の研修、段階に応じたスキルアップ研修などの受講を促している。入職してから介護福祉士を取得した職員も多く、資格取得に向けた支援も行っている。開設して7年が経ち、利用者の高齢化により身体的な重度化は現実として受け止め、医療機関、訪問看護ステーションとの密な連携を図り、安心してホームでの生活が継続できるように支援している。また、利用者向けアンケートにより、個々の思いや意向の把握と改善課題も検討して、利用者満足してもらえるようにサービスの質の向上に取り組んでいる。災害対策についても、ホーム周辺の地域協力者を確保して名簿に登録させてもらうなど協力体制を築いている。名前のように別荘のような趣のあるホームであり、利用者のはのんびりと思いいに時間を過ごしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>地域の中でその人らしく暮らし続ける事を支えていくサービスとして事業所独自の理念、「のんびりした時間を過ごしながら今までと変わらない暮らしの中で、お一人、お一人様の思いと家族の絆と地域のふれあいを、大切にしながら心のこもった介護をめざします。」を作り上げて、関係職員一同その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>理念は施設内掲示板に大きく見やすいよう掲示している。職員の離職もなく、全職員が理念を念頭におき日々実践に繋げている。ときには職員会議などで振り返る機会もある。毎年、理念とは別でスローガンも掲げている。昨年度は「絆」であり、今年度は「思い」として、思いやりの心をはぐくむことを目標にしている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域で行われる恒例の特攻隊慰霊祭へは、毎回参加し、施設主催の創立記念祭、敬老会、秋祭り、クリスマス会には、地域の皆様を招待して、ボランティア、小・中学生のふれ合い活動の受入れ、隣接のデイサービスの利用者様との交流も積極的に行い、事業所もオープンにして地域の一員として交流している。</p>	<p>町内会に加入して、代表者は総会に出席し、法人の大型バスや隣接のホールの貸出も行いながら地域と繋がれるよう交流に努めている。利用者は地域行事の見学や、隣接のデイサービスでの催し物に参加することで地域の方々との交流や幼稚園、保育園児とのふれあいを行っている。また、中学生、高校生、大学生の体験学習の受け入れも行っている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている</p>	<p>毎年、開催しています創立記念祭、敬老会、秋祭り、クリスマス会等に地域の皆様を招待した際、又、ふれ合い活動でのボランティア、学生の受入れ時や運営推進会議の開催時に実践を通じて積み上げた認知症の人の理解や支援方法等を、生かしています。</p>		

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議毎に、ご利用者皆様の生活状況報告とサービス内容評価への取り組み状況等について報告を行い、委員の皆様からの率直なご意見などを、積極的にいただきながら話し合い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている。	運営推進会議は2ヵ月に1回、町内会長・老人会長・副会長・民生委員・家族代表・利用者代表・職員・行政などの参加で定期的に開催している。ホームの活動状況、利用者の生活状況及び家族、地域との関わりなどを報告している。ときには、認知症についての勉強会や研修内容を発表するなどして、認知症ケアについての理解を得られる機会にもなっている。議事内容は毎月ホーム便りに掲載して、全家族に報告している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営に関しては、市の担当者、地域包括支援センターの担当者に日頃から連携を密に取り、事業状況やケアサービスの取り組み状況等、又、事故や問題が生じたら直ちに相談し指導助言を受けながらサービスの質向上につなげている。	日頃より連携を図り、協力関係を築くように努めている。鹿屋市より敬老の日のお祝いに訪れることもある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し、社内での勉強会やミーティングの時など代表者及び全ての職員が禁止となる具体的な行為を正しく理解、確認している。今までに身体拘束の事例はなく、身体拘束などの排除の理念及び方針を定め、身体拘束ゼロ運動のケアに取り組んでいる。	契約書に「身体不拘束」の項目を明記し、玄関にも「身体拘束などの排除の理念及び方針」を掲示している。ホーム独自のマニュアルも作成し、定期的な勉強会を行いながら、数値0を目標とした身体拘束のないケアの実践に取り組んでいる。日中は施錠などせず職員間の連携で安全で自由な生活を送れるよう支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフ会議や、社内勉強会で虐待防止法について学び、また身体拘束委員会を設置して虐待防止法に向けて取り組みを行っている。またグループホームのカンファレンスでも虐待防止について話し合いを行い、スタッフも虐待について周知できている。		

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会等を通じて制度について学ぶ機会があり理解し、活用できるように支援をしているが現在の所必要のある方は全くなく、今後必要な方に対して活用できるように引き続き支援をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約又は改定等の際は、ご利用者様やご家族の不安や疑問点を聴取し、契約書、重要事項説明書を元に十分な説明を行い理解・納得して頂いた上で手続きを行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居契約時に苦情方法や関係機関について説明を行い、重要事項説明書の中にも書かれている。又ホーム玄関内にも、お気付き箱を設置し、運営に関する御家族等の意見を反映させている。	玄関に「お気づき箱」として家族が意見を書きやすいように工夫している。また、面会時や電話連絡時、担当者会議などで個別に意見や要望を聞き出すようにしている。利用者からは日常の会話やときには、職員の関わりについてのアンケートを行って意見や要望を引き出すように工夫している。出された意見や要望については、職員全員で話し合いサービスの質の向上に向けて反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	社内の研修会の中で意見や提案が自由にだせる機会が設けてあり、代表者や管理者は、運営に関する職員の意見を反映させている	毎月、全員参加で全体会議を開き、意見交換や話し合いを行っている。また、職員は毎月「職員としての心構え」を各自発表しており、初心に立ち返る機会にもなっている。サービスの質の向上のための業務改善提案事項を作成し、よりよいサービスに向けて取り組んでいる。	

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>社内全体の管理者会議を月に2回行い、代表者も職場や職員の状況を把握している。毎月1回の社内全体会議においても直接思いを伝える機会もあり、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>段階に応じて、管理者講習、実践者研修を受ける育成計画を立てて研修の啓発に取り組んでいる。また研修の案内があった時は職員の希望も入れて積極的に研修に参加している。研修後は研修報告書を作成して回覧し、全体月例会議で研修発表を行い社内研修に活かしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内のグループホーム協議会に加入しネットワークを通じて、研修会、事例検討会等を行い、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質向上を目指している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	施設を見学して頂いて、その際に御本人が困っていること、不安なこと、を聴取し、納得理解して入居されており、入居されてから御本人の思いや不安に、向き合い安心した生活を送ってもらえるように信頼関係の構築に努力している。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	施設を見学していただいて、その際に、御家族の相談事、困り事を十分に聴取して、施設理念の説明を行い納得理解していただき、不安の軽減に努め、要望等のサービスが図れる様な努力をする旨の理解を頂き信頼関係の構築している。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	身体状況の悪化、要介護状態の回復等御家族が不安を訴えられる時は、その希望に添えるように相談に乗ったり、状況に応じて医療、地域支援包括センター等と連携をしながら他のサービスが利用できるように努めている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	職員は利用者様と過ごす時間を多く持ち、過ごす時間の中でも喜怒哀楽を共感しながら、人生経験等を伺う機会も多く、その中で利用者様から学び教えていただく事柄も多く共に支えあう関係を築いている。		

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>御家族の存在はとても重要であり、情報提供はこまめに行い、運営会議の家族代表者を通じ、又御家族の面会の際、情報提供を密に行い、喜怒哀楽を共感しながら一緒に本人を支えて行く関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>御本人の思いを尊重して地域の仲間との関係の継続や併設のデイサービスに出かけて昔馴染みの人との関係関わりを保つ等、嗜好品等の買い物に近所のスーパーに出かけたり、お墓参りに出かけていたりしている。</p>	<p>個々の希望に応じて自宅周辺のドライブや美容室、墓参りなどに連れていく利用者もおり、なじみの人や場との関係継続の支援を行っている。また、入居前からの趣味の会の仲間との食事会なども継続できるように支援している。友人・知人の訪問もあり、訪ねやすいように配慮している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>お互い助け合い、支えあいの暮らしていけるように支援している。洗濯物をたたんだり、食事の声かけや、テレビ鑑賞を一緒にしたりして、共感されお互いとてもいい関係ができて支えあって生活をされている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>身体状況の悪化で、入退院を繰り返して長期入院が必要となり、御家族で契約を終了したケースが、1名あった。契約を終了しても最後まで本人、家族との関係は大切にしながら支援が必要なら積極的に行っている。</p>		

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々生活される中で、気持ち、思いが表現できたり、状況や表情を感じ取れるようにしている。困難な場合でもあらゆる選択しを検討しながら御本人が理解、納得していただき落ち着いた時間を過ごすことができるようにしている。	日常の会話や仕草などで本人の意思確認をしてから行うように心がけている。また、利用者アンケートを実施して、個々の思いや意向を聞き出し、職員全員が把握できるように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービスのサービスの経過等の把握に努めている	入居申し込みの時、又は入居時に本人、家族、居宅支援事業所から聞き取りを実施し、生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービスのサービスの経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々皆様の暮らしや生活リズム、身心の状況変化は早期に気付ができるように努めていると共に、有する力等現状を総合的に把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	身体状況、精神状況の変化時又本人、家族の希望時はモニタリングをしてケアカンファレンスを開催、課題分析を行い、見直しを行って、介護計画に反映させている。	本人、家族の希望を取り入れ、安心して生活できるように個々に応じた介護計画を作成している。また、3ヵ月ごとにモニタリングや評価を行って、定期的な見直しに活かしている。利用者向けアンケートの結果も個々の見直しに反映されている。	



鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の様子や日々の体調変化、実践、結課、気づきや工夫を個人ファイルに記録にして残し、また申し送り等を行い情報も共有しケアの向上につなげている。その中でサービス計画につなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の意向や状況、その時々々の要望に応じて、通院支援や馴染みの場所の訪問、又、併設のデイサービスへの通所、交流等柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の町内会長、老人会長、小中学校校長、民生委員、警察の方等施設行事に招待したり、地域のボランティアの方に積極的に来て頂いている。地域の小学校、中学校の生徒の体験学習も受け入れ、地域資源と協働の支援をしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び御家族の希望を大切にし、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられ、安心して生活が送れる支援をしている。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。定期的な医師の往診や訪問看護ステーションとの連携により、利用者の健康管理が密になることから、家族の安心に繋がっている。	

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護ステーションと契約して週1回定期的に観察をしてもらって日常の健康管理に努めている。その際には必ず日常的な身体状況の変化をきちんと申し送り、助言、指導に基づき主治医との連携を図りながら元気で過ごせる支援をしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院生活は環境の変化で精神的な負担が最小限にすむように、主治医、ソーシャルワーカーと情報交換や相談に努めているとともに、日頃ら連携を密にしてそうした場合に備えている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合における対応に係わる指針を作成して入居時本人、御家族に説明理解していただいている。終末期は家族、主治医、訪問看護ステーション等と密に連携をしながら全員でカンファレンスを開き方針を共有している。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの指針を作成し、入居時にホームの方針を説明している。入居後は利用者の身体状況に応じて主治医の指示のもと、家族と話し合っ方向性を決めている。これまでに看取りの経験もあり、職員もホームの方針は共有して支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>訪問看護ステーションと契約を行い、週1回定期的な健康チェック、24時間いつでも連絡体制ができてその都度助言、指示を受けている。スタッフも社内会議等緊急時の対応について研修を受けながら向上を目指している。</p>		

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防火管理者による消防計画にに基づき災害訓練を年2回行っている。訓練には近隣の方も参加を頂いている。近隣の方のお宅に出向き、災害時の協力要請をお願いして快く承諾を得ている。また地域の防災関係機関へも日頃から働きかけ協力を得られるようにしている。</p>	<p>年2回夜間想定で避難訓練を行っている。近隣の方々には地域協力者としての登録も了承してもらい、協力体制を築いている。火災報知機、自動通報システム、スプリンクラーは設置済みである。また、自家発電システムも設置されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の、プライバシーを損ねることのないように、生育暦、生活歴をくみとり言葉かけや対応等大切な尊厳を守るケアを行っている。記録等個人情報については入居時に必要な情報提供の同意を得る等して承諾をいただいている。職員は規則に沿った取り扱いをしている。	「やさしい声かけやことばはなによりのごちそうである」ことが職員にも意識づけされ、職員の声かけもやさしく、利用者もこのホームの雰囲気がとても気に入っている。また、定期的に勉強会を行い、職員の資質の向上に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人のペースに合わせた言葉かけを行い、寄り添いながら状況の観察を行っている。それぞれの思いや希望を気軽に話せるように、食事後団療の時間を等を交えて導きだせるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの暮らし方や生活リズム、身体状況の変化は早期に気づきができるように努めていると共に、有する能力等の現状を総合的に把握している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々それぞれのその人らしい身だしなみ、洋服、美容等の支援をしている。着る物は自分で選んで、自分で着て楽しみ、毎朝化粧をされる等身なりを整えて日々の生活が送れる支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の生活の中でもっと楽しみな食事は希望を聞きながらメニューに活かしている。良く出る希望はすき焼き、焼肉、鍋物等テーブルを囲んで見て作りながら食してもらっている。後片付けはそれぞれ能力の応じて自分の役割とされている。	個々の力量に応じてつわの皮むきや下ごしらえなど職員と共に行っている。ときには気分を変えて、テラスでお茶やバーベキューをすることもできる。また、なべやすき焼き、焼肉などは利用者に大好評のメニューである。	

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事の量や栄養バランスについては社内の栄養士に相談をしたり、水分量は個々の身体状況に合わせて主治医に相談して指示に従い必要な水分量が確保できるようにしている。1日を通して一人一人の習慣に応じた支援を行うと共に食事量、水分量は記録を通してスタッフ全員が把握できるようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>日々健康管理の中で口腔ケアは大切なケアであり、毎食後それぞれ能力に合わせて働きかけたり、介助の支援を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表にて、排泄パターンの把握を行っている。排泄パターンに基づいて定時、もしくは随時誘導を行いトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>専門家によるおむつ研修会でおむつが必要になった利用者に対してのメンタルケアやじょくそう予防、正しい装着方法などを学んでいる。可能な限りトイレでの排せつを支援しており、自立している利用者は継続できるよう支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>生活動作の中での運動や、グループワークを通して運動を働きかけている。バランスの良い食事や飲水を促し自然排便を心がけている。食事量や水分量を記録に残して便秘時は速やかに排便があるように対応している。</p>		

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は毎日希望を取り入れている。無理強いすることなく、希望やタイミングを見ながら声かけを行っている。ほぼ全員の方が毎日の入浴を楽しまれている。	利用者からも「風呂は毎日入ると気持ちが良くてよく眠れる」との声もあり、毎日、入浴の支援を行っている。時間帯も午後からとしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活リズムに合わせて休息したり、身体状況で安静の支援をしている。日中はグループワーク、リハビリ、声だし読書等を取り入れて生活のリズムができる支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬が確実にできるように、準備の工夫、記録を行っている。新しい薬が処方された場合は、各勤務時の申し送り、また申し送り簿への記載を行いスタッフが周知できるように連携を図っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々それぞれの生活歴や能力を活かした洗濯たたみ、針仕事、おしぼり作り等役割を持ってもらえる支援をしている。隣設するデイサービスとのイベント等は楽しみのひとつで地域の方との交流で気分転換になっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	9名様、お一人、おひとりの希望に添って自由に外出の支援をおこなっている。散歩、買い物、お墓参り、自宅、美容院等その日の希望に添って戸外へ出られるように支援をしている。	日常的にはテラスでの日光浴や散歩、買い物などに出かけている。また、季節の花見やくだもの狩り、初詣、紅葉見物などにも出かけて季節を感じるように外出支援を行っている。本人の希望による、趣味の仲間との食事会、自宅周辺のドライブ、墓参りなどの個別の支援も行っている。	

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金は9名中4名方が自己管理されている。買い物に出かけた後、病院受診代、理美容等支払いをされている。財布の中の金額が合わなくても本人のお金であるから自分で管理させてほしいと御家族の希望もあり、自己管理に理解を頂いている。支払い後の領収書は出納帳管理して毎月写しを御家族に送付している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>生活の中で電話は自由に掛けて取次ぎも行っている。年賀状のやりとりをされて、遠方の御家族の元気な様子に喜びながら自分の生きる糧になっている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関は家庭的で入りやすく、ホーム内は和風の広々とした雰囲気である。不快な音、光はない。事務室横には利用者様が作られた籠や生け花が並び面会に来られた方も手にとって喜ばれている。ソファー、畳、（コタツ）リビング、ウッドデッキと居心地の良い空間を整えている。</p>	<p>木のぬくもりが随所に感じられる共用空間である。広々とした造りでリビングからは外の景色が一望でき、ホームにいながら四季を感じることもできる。ホーム回りに設けられたテラスは自由に出入りができ、日光浴やバーベキュー、花火大会など利用者のお気に入りの場所になっている。また、利用者手作りの籐のかごや季節の花、家庭的な調度品などが飾られ、温かい雰囲気が感じられる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個々利用者同士で思い、思いにのんびりした時間を過ごせる空間の中で、新聞を読んだり、テレビを見る等自由に過ごせる居場所の工夫をしている。</p>		

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時等、本人や御家族と相談しながら、使い慣れた家具や馴染み深い物等、本人が居心地が良く過ごせるような部屋作りを工夫をして、落ち着いた時間を過ごされている。</p>	<p>居室で好きなテレビを見ながらくつろぐ利用者も多い。また、電気ポットにお茶のセット、お仏壇、使い慣れた化粧鏡、鉢植え、家族の写真などが置かれ、それぞれに居心地良く過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>フロア内は自由に動ける広々としたスペースがあり、ウッドデッキも車椅子で自由に入出入りされている。トイレの表示もしてあり、それぞれの能力に応じて自立支援をめざしている。</p>	/	/



V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームヴィラ サフラン

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない